

令和3年度 西条市立中川小学校学校評価 児童・保護者アンケート結果と対応 <質問項目別>

項目	各項目の上枠は質問内容（上：保護者へ、下：児童へ） 下枠の「○」は結果 「☆」はその <b>対応</b> など
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は、地域の自然・文化・産業や人材を活用した学習に積極的に取り組み、地域のよさを伝えている。（保護者）</li> <li>地域のことを調べたり、地域の人に教えてもらったりする勉強をしている。（児童）</li> </ul> <p>○ 保護者の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、児童の「思う」割合が、8%減少している。</p> <p>☆ <b>今年度は、昨年度に比べてより一層地域人材を活用した授業を取り入れています。今後も、地域のよさを児童が実感できる授業展開に努めていきます。</b></p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんは、学年に応じた時間（1・2年 30～50分、3・4年 50～70分、5・6年 70～90分）家庭学習を行っている。（保護者）</li> <li>毎日、忘れずに宿題をし、1・2年 30～40分、3・4年 50～70分、5・6年 70～90分、家で勉強している。（児童）</li> </ul> <p>○ 保護者の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、児童の割合が約12%減少している。</p> <p>☆ <b>宿題は、個々の実態に応じて柔軟な量と質にしています。主体的な学びを促す家庭学習になるよう高学年を中心に自主学習を充実させ、学習時間の確保に力を入れていきます。</b></p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は、指導方法（ICT活用や話し合い活動「学びあい学習」）を工夫し、一人一人に応じた家庭学習を行い、学力の向上に努めている。（保護者）</li> <li>勉強でパソコンや電子黒板を使ったり、わからないことを友達に聞いたり、わかることを友達に教えたりしている。（児童）</li> </ul> <p>○ 「思う」「やや思う」を合わせた割合は、児童、保護者とも90%以上である。</p> <p>☆ <b>コロナ禍で、定着しつつある「学びあい学習」が十分に出来ない状況ですが、今後も、発達段階に応じた効果的な授業の工夫・改善に努めていきます。</b></p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんは、楽しく学校に通っている。（保護者）</li> <li>学校に来るのが楽しい。（児童）</li> </ul> <p>○ 保護者の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、児童の割合が約4%増加している。</p> <p>☆ <b>今後も様々な活動を通して、自分自身の成長が確かめられる楽しさも広げていきます。</b></p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんは、学校で決められた役割（係や当番活動）や仕事を進んでしている。（保護者）</li> <li>係活動や委員会活動、当番活動、掃除を一生懸命している。（児童）</li> </ul> <p>○ 保護者の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、児童の割合が約5%増加している。</p> <p>☆ <b>係や当番の活動、清掃等は、人に役立つことを実感できる場であり、その意義を確かめ合ったりやり遂げた姿を称揚したりしながら、一層の充実を図っていきます。</b></p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんは、人を思いやったり、美しいものに心を動かされたりするなど心豊かに育っている。（保護者）</li> <li>人に優しくしたり、美しいものに心を動かされたりすることがある。（児童）</li> </ul> <p>○ 保護者、児童とも、昨年度同様により結果である。しかし、保護者と児童の割合の差が昨年度と同様で、児童の値が保護者よりも約22%低く、その差が縮まっていない。</p> <p>☆ <b>今後も心に響く体験活動を通して、美しいものや素晴らしいことに心を動かされたことに目を向けさせ、児童の情操を高めていきます。</b></p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんは、学年や異年齢集団活動（縦割り班活動）を通じて、友達と仲よくしようとする態度が身に付いている。（保護者）</li> <li>学級や縦割り班活動で、友達と仲よく生活している。（児童）</li> </ul> <p>○ 児童の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、保護者の割合が約5%増加している。</p> <p>☆ <b>今後も感染症対策をしながら、外遊びや運動の働き掛け及び工夫・改善を子どもたちと一緒に考え、取り組んでいきます。</b></p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんは、挨拶や場に応じた言葉遣いが身に付いている。（保護者）</li> <li>挨拶や場・人に応じた言葉遣いをしている（児童）</li> </ul> <p>○ 昨年度同様、児童も保護者も肯定的な割合（「思う」「やや思う」）が、85%以上と高くなっている。</p> <p>☆ <b>今後も、家庭・地域における挨拶や場や人に応じた言葉遣いができるよう、機会をとらえて指導を継続していきます。</b></p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんは、積極的に外遊びをしている。（保護者）</li> <li>NSCなどの体力づくりに進んで取り組んでいる。（児童）</li> </ul>

	<p>○ 保護者の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、児童の割合が約5%減少している。</p> <p>☆ <b>休み時間での外遊びの奨励を行っています。今後とも、校内外における体力づくりが一層向上するよう、継続して働き掛けていきます。</b></p>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯・口の健康をはじめとする健康教育は、お子さんの身に付いている。(保護者)</li> <li>・ 歯・口や体の健康のことを考え、歯みがきなどをきちんとしている。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 昨年度よりも、保護者の肯定的な割合（「思う」「やや思う」）は、約7%減少している。保護者と児童の「思う」割合の差が、昨年と比べて13%広がった。</p> <p>☆ <b>学校での健康教育が家庭でも実践化できるように、今後も家庭と学校が連携を強め、健康的な生活習慣が身に付くよう継続して取り組んでいきます。</b></p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校は、登下校や変災時の避難訓練等、児童の安全確保に積極的に取り組んでいる。(保護者)</li> <li>・ 火事や地震、事故などがあった時、どうすればよいか分かり、避難訓練を熱心にした。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 児童の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、約4%増加しているが保護者の割合は約4%減少している。</p> <p>☆ <b>毎年、避難訓練の内容を吟味した取組を重ねています。次年度も登下校の安全確保に重点を置きながら自分の命を守る行動がとれるようにしていきます。</b></p>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員と保護者には、協力し合ってお子さんを育てようとする関係ができています。(保護者)</li> <li>・ 先生を信頼し学校生活を送り、家族と学校の話をよくする。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 保護者の肯定的な割合（「思う」「やや思う」）が昨年度と同様であるが、児童の割合が約6%増加している。</p> <p>☆ <b>感染症対策を講じながら、保護者と学校が連携を密にし、今後も学校と家庭が共通の課題意識を持って健全育成に取り組みたいと思います。</b></p>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P T A活動は、児童の健全な成長と会員の親睦を図るものとなっている。(保護者)</li> <li>・ 学級P T A（親子活動など）や学団P T A（子ども会行事など）の活動は楽しい。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 保護者の肯定的な割合（「思う」「やや思う」）が約5%増加した。児童は、新型コロナウイルス感染症の影響で親子活動や子ども会の行事を中止したため、アンケートを実施できなかった。</p> <p>☆ <b>今後はコロナ禍の感染症対策を考慮しながら、P T A活動の見直しや改善を行い、児童の健全な成長と会員の親睦を図っていくようにしたいと思います。</b></p>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校行事の内容や回数は、子どもにとって適切である。(保護者)</li> <li>・ 学校の行事は楽しく、回数もよい。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 児童、保護者ともに昨年度と同様である。</p> <p>☆ <b>各行事を通して児童に身に付けさせたい力を明確にしつつ、児童が主体的に企画する活動も積極的に取り入れ、家庭や地域と連携しながら取り組んでいくようにしていく方向でいます。</b></p>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校は、積極的に学校の様子を公開し、開かれた学校づくりに努力している。(保護者)</li> <li>・ 学校だよりや学級だよりなどお知らせのプリントはきちんと家の人に見せている。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 児童、保護者ともに肯定的な割合（「思う」「やや思う」）が90%以上と非常に高い。</p> <p>☆ <b>今後も毎日のホームページ更新、定期の学校だより発行等、開かれた学校づくりに努めていきます。様々な情報を通じ、お子様との会話が弾めば幸いです。</b></p>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お子さんは、該当学年の学習内容が身に付いている。(保護者)</li> <li>・ この学年で勉強していることがわかっている。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 児童、保護者ともに肯定的な割合（「思う」「やや思う」）が昨年度より約3%増加している。</p> <p>☆ <b>保護者、児童ともに良好な結果ですが、これに甘んずることなく、各学年で学習内容の定着に一層の力を注いでいきます。家庭での見届けもいただくと助かります。</b></p>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お子さんは、教職員からの体罰を訴えることなく生活している。(保護者)</li> <li>・ 先生からたたいたり、けったりされないで生活している。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 児童、保護者ともに昨年度同様ほとんどよい結果である。</p> <p>☆ <b>今後も、体罰は絶対にしない体制づくり、教職員間での確認を徹底するとともに、家庭と連携して、様々な問題の早期発見に努め、迅速な対応にも結び付けます。</b></p>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ N S Cの活動（回数、時間）は、子どもたちにとって適切である。(保護者)</li> <li>・ N S Cの活動の回数や活動は、ちょうどよい。(児童)</li> </ul>
	<p>○ 保護者の肯定的な割合（「思う」「やや思う」）は、昨年度と同様であるが、児童の割合が昨年度より約8%減少した。</p> <p>☆ <b>児童の負担を考慮しながら内容や回数について検討し、N S Cの充実を図っていきます。</b></p>